

兵庫会関連情報

(一社)兵庫県建築士事務所協会 副会長

岡田 俊彦 (神戸支部)

神戸市(建築住宅局、消防局)と兵庫県建築士事務所協会神戸支部との違反建築物是正に係る覚書について

■ 覚書の締結

神戸支部では令和2年2月に神戸市との間に「建築基準法違反と消防法違反の是正及び未然防止の実施に関する覚書」を締結しました。

■ 覚書の概要 (以下の3点を主な内容、主旨としています)

- 1. 建築基準法、消防法違反を解消できる仕組みづくり
- 2. 違反建築物の発生を事前に防止する取り組み(建築士に相談できる仕組みづくり)
- 3. 相互研修等を通じた人材育成に関すること

■ この覚書による相談等の流れ(建築住宅局及び消防局の担当部署を「市」と略します)

- 1. 市は建物所有者側に神戸支部の連絡先を伝えます。その際に、「建築士への業務の依頼は有償となる」ことも伝えます。
- 2. 建物の所有者等関係者がこの覚書による制度を利用し依頼をする場合は、神戸支部に電話、メール等で連絡します。
- 3. 神戸支部は適した建築士を紹介、建物関係者は紹介を受けた建築士に連絡し、違反として指摘された事項、建物の現状と経緯について相談します。
- 4. 担当建築士は必要に応じてヒアリング、現地調査を実施し、結果を市に報告します。

■ この覚書による是正工事等の流れ(担当する建築士の実施すること)

- 1. 市で作成された方針に基づき、具体的な是正改修図を作成し、市側には是正内容に誤りがないか確認を行います。
- 2. 1の図面に基づき、所有者側に具体的な是正工事内容を説明、所有者側に依頼できる工事業者がいる場合はその業者と、ない場合は了解を得て工事業者を選定し、工法、工期、工事費用についての協議を行い、その内容を所有者に説明、承諾を得たのち市側には是正計画書と計画図を提出します。
- 3. 着工前に改修計画図を市側に提出し、問題点の有無を確認します。
- 4. 着工後は、重要工程の完了時等適切な時期を市側に連絡し、現場確認を求めます。
- 5. 工事完了時期を市側に連絡し、是正工事の現場確認を受け、完了報告書を提出し、業務終了です。

■ 実際の大規模な建築での違反是正事例

令和3年夏、神戸市内で建築確認申請を行わず、3000㎡を超える大規模な建物を建設し、使用開始している事業用建築物が覚知され、この覚書による連携で、改修計画の作成、改修工事を実施し、令和6年秋に約3年をかけて完了に至りました。

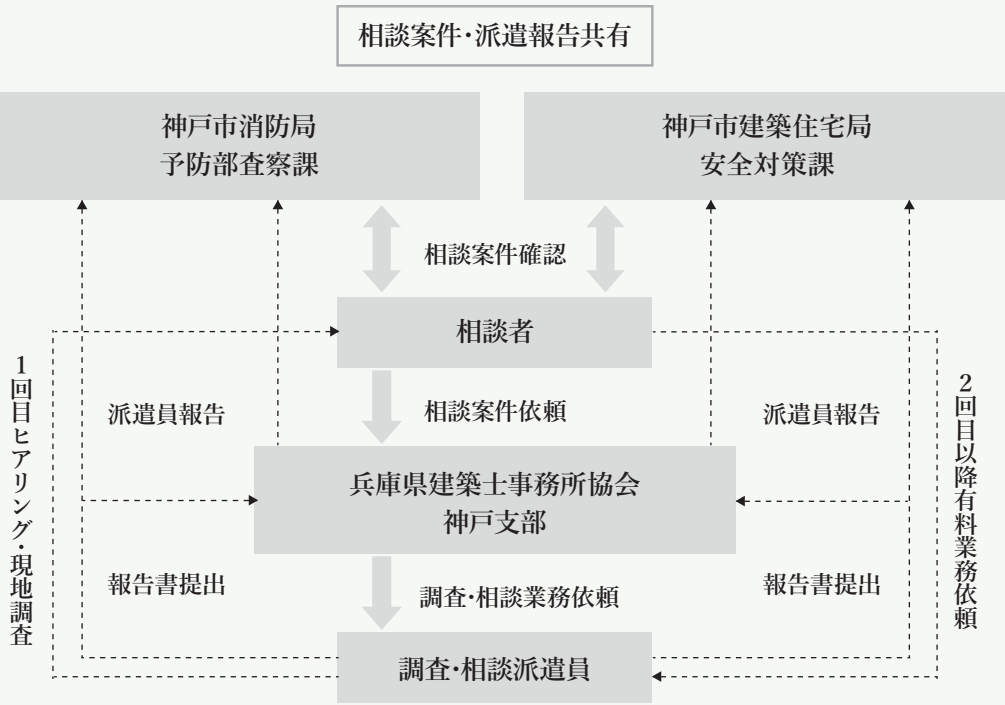
■ 実際には是正工事計画作成と所有者等への助言を担当した建築士から

もともと、所有者等が増築や改修工事について法規的な知識がなく「最も安い見積書を出した業者」と契約し工事が実施される傾向があり、違反建築物の発生を防ぐことは難しい性格を抱えています。ましてや、外国人の場合には、日本語で書かれた法律用語で説明されても理解することは難しいでしょう。

一方、令和7年4月から、兵庫県下全域ではありませんが中規模な事務所ビルにも定期報告が義務化され、その結果、違反状態が明らかになる建築物もあるでしょう。そういう状況下で、違反是正への協力は私たち建築士の知識と経験が役立つ重要な分野となると考えられます。

末筆になりましたが、建築住宅局、消防局の方々には、工事の遅延などにも配慮をいただき、なんとか完了に結ぶことができましたこと、改めて感謝申し上げます。

相談に関するフローチャート



※神戸市消防局予防部査察課作成

一般社団法人日本建築士事務所協会
連合会近畿ブロック大会

2024年9月13日（滋賀県大津市）

毎年1回、近畿2府4県の単位会ローテーションで実施されている、近畿ブロック大会。今年は、滋賀会の幹事で大津市、琵琶湖ホテルをメイン会場に実施されました。

まず、開会あいさつは、近畿ブロック協議会の会長である兵庫会 原田会長から、「京都会上野会長が日事連会長に、大阪会樋上会長が副会長、滋賀会大村会長が常務理事、奈良会坂口会長が監事と日本建築士事務所協会の中核を近畿圏で担っている状況であり、これからの発展に重要な推進力となる」とのご挨拶。



上野京都会会長をはじめ、来賓のご祝辞のあとは各単位会青年部会の報告会に。兵庫会からは、青年部女性部合同委員会の高野委員長（姫路支部）、濱田副委員長（阪神支部）による、活動報告。3月に実施された講演会や、夏の研修会の報告と11月9日に実施される六甲山での近畿ブロック青年部会研修会のご案内、これからの活動の発展に向けた取り組みの紹介など、パワーポイントにスマートにまとめられた発表



でいい感じ。そして、大会の2次会は琵琶湖遊覧船ピアンカでの懇親会。少し雨もパラつく乗船前でしたが、雨も止んでピアンカの前で兵庫会参加者での記念撮影のあと、いそいそと乗船。うっすらと虹もかかっていい夕暮れの中の出航となりました。



乾杯のあとは、アテンダントのサービスで美味しいバイキングやビール、ワインなどなどを楽しみ、そして入港前になると、クライマックス「ピアンカの打ち上げ花火」琵琶湖湖岸からなん十発もの花火が打ち上げられて、秋の夜空に大きな光の輪を幾重にも描き、素晴らしいシーンに皆さんご満足でした！



近畿ブロック大会、開催準備にご尽力された滋賀会関係者の皆様、素晴らしい大会運営と様々な演出、ありがとうございました（令和7年は、9月12日に奈良で開催予定です）。

一般社団法人日本建築士事務所協会
連合会全国大会（福井大会）

2024年10月11日（福井市フェニックスプラザ）

恐竜で有名な福井県での開催となった、日事連全国大会。10月11日に夏のような日差し、快晴の福井で実施されました。



大会の冒頭は、日事連会長上野会長からの開会あいさつでスタート、福井県知事などのご来賓のあいさつ。地元の首長のお話の主題は「能登半島地震の復興に北陸地域をあげて協力していく」ということと「福井らしさをどう創り、活かしてゆくか」ということでした。

その後は隈研吾さんの建築講演での、近作紹介など。隈氏の、「地元福井での老舗料亭開花邸（国指定重要建造物）のリニューアルの視点に、山と川の景観を活かして、他の場所ではない、福井のシーンを演出することを目標とした」との解説とともに実施作品をスクリーン映像で紹介。



そのあとに実施された、隈研吾さんと進士五十八（しんしいそや）さんとの、トークセッションへとすすみました。

そのなかで、進士さんが、「福井も他の地方都市も通りを歩けば同じような風景になってしまっているのは、国の法律が画一的で、どうも融通が利かない。どこも同じようになってゆくと、若者はなにか可能性を求めて東京を代表とする大都市を求めて流出してゆく。街の景観を財産としてその街に活かし、暮らす人々に我が街の価値を印象付けてゆくのが、行政と建築家に大切なことですね」と、隈氏の老舗料亭のリニューアルのお話に結びつけて、リスペクトしてゆくというトークでまとめてセッションは終了。

こういうお話の流れのつくりかたは流石ですね、い

い勉強になりました。

帰りに立ち寄った北陸新幹線が開業した福井駅、動く大きな恐竜（ティラノザウルス）がお出迎えしてくれる横には、昔懐かしい感じの路面電車がゆっくりと走ってくる。そう、福井のアイデンティティーを感じるシーンにしようとしている狙いは十分に伝わってきました。



都市と建築のオリジナリティーと地域特性を感じる景観まちづくりへの視点を考える、全国大会にも福井の街にも、いい学びをいただきました（令和7年は10月3日新潟市で開催されます。皆さん、日程キープをお願い致します）。

Information

2024年度 新執行部

2024年度新体制に伴い、執行部のメンバーも変更しております。下記ご案内いたします。

会長：

原田 敏文（阪神支部）

副会長：

中川 政和（三田支部）

岸本 恵司（明石支部）

渥美 充弘（阪神支部）

岡田 俊彦（神戸支部）

常任理事：

増野 宏（阪神支部）

高原 正道（明石支部）

池田 勝秀（姫路支部）

北川 浩明（神戸支部）

青年部・女性部合同委員会

委員長 高野 良樹

Report 活動報告

【令和6年度】

委員会

前年度(第六回) 令和5年1月11日

前年度(第七回) 令和6年3月15日

前年度(第八回) 令和6年5月15日

第一回 令和6年6月12日

第二回 令和6年7月18日

第三回 令和6年8月24日

第四回 令和6年10月24日(明石出張委員会)

第五回 令和6年12月9日

■都市計画家講演会

令和6年3月15日

兵庫会青年部女性部合同委員会では、「身近な建築家の仕事を知ろう」をコンセプトに、兵庫の建築家の講演会を行っております。精力的に活動している身近な建築家の仕事を知り、学びと気づきをえることを目的とした試みの第2弾として都市計画を中心に活動されているデベロッパーである村上豪英氏を招き講演を行いました。



総出席者数36名(内、会員外6名)が実数となります。会員外の方は、会員の所員や市役所職員、賛助会入会検討者などとなっており、普段中々お会いできない方も含めて、有意義な交流の場を持つことが出来ました。

都市計画や都市再生における、デベロッパーとしての

立ち位置で、ネイチャースタジオや東遊園地の建築運営に携わられており、建築物を活動の起点としながら、役所や市民との関係やアプローチを踏まえた、様々な携わりをお聞きすることが出来、都市計画において、建築家がどのようにかかわっていくことが出来るのかという問題へ向き合う良い機会となりました。



■青年部・女性部合同委員会納涼意見交換会

意見交換会を兼ねた納涼会を開催いたしました。

前年の結成式から1年が過ぎ、新たな青年対象者の方も増えた中で、委員会への参加機会を促すことが主目的となります。



オブザーバーや前会長も参加くださり、全体のうち2名ほど欠席があったものの、7名が新規参加者として参加

いただく中で、青年部の活動内容などもお聞きいただき、和気藹々とした雰囲気の中、様々な意見交換が行われ、新たな横のつながりが出来るのを感じました。

小規模ではありましたが、全ての方と顔を合わせてお話が出来る程度の丁度良い距離感で、新規参加者にとっては、青年部がどのような会であるのかというイメージを共有し、雰囲気を体感いただけたことと思います。今後、さらに積極的に会に参加くださるきっかけになればと考えております。

■近畿ブロック協議会

兵庫会は、今年度より、近畿ブロック協議会青年部会の幹事会となっております。

各協議会の会議の主催を執り行うとともに、例会や青年部大会にも積極的に参加いたしました。

○近畿ブロック協議会青年部会 会議

第一回 令和6年5月11日

第二回 令和6年7月5日

第三回 令和6年9月15日

■近畿ブロック協議会 in滋賀

令和6年9月15日

近畿ブロック協議会(滋賀大会)が琵琶湖ホテルにて開催されました。

各会青年部の活動報告発表会を行いました。その後、本会の懇親会が開催されました。



■全国大会・話創会・女性部会

令和6年10月10日・11日

福井県にて話創会が行われました。働き方改革の影響や設計事務所経営の課題について全国各地の単位会の方と討論を行い、テーブルごとに発表が行われました。

また、ブロック単位での活動を全国的に推進されており、各ブロックの活動報告を行いました。

まだ、本格的に活動に至っていない単位会もあり、様々な課題の元活動に取り組まれていたのが印象的でしたが、共通する課題として、高齢化や活動方針の統合化といった問題があったと感じました。



翌日、女性部の皆様は、女性交流会に参加してくださいました。小講演会の後、グループディスカッションを行い、交流を深めるとともに、女性部としての課題やこれから向かうべき目標について協議して下さっております。



全国大会にも参加させていただき、全国単位での交流を深めるとともに、日本事務所協会連合としての活動方針などの共有を致しました。



■第三回 近畿ブロック協議会青年部大会
令和6年11月9日

年に1度、近畿ブロック協議会青年部大会が行われています。本年は、兵庫会が担当会として六甲の建物見学を計画し、研修会と意見交換会を企画しました。

各ブロックの横の連携を強めるのはもちろんのこと、互いに研鑽を積み、様々な技術や建築知識を高めていながら、協会活動に還元していくものとして位置付けています。

結成から2年がたち、具体的にどのような運用を検討していくべきであるのかという段階にきている近畿ブロック協議会青年部会が、これからの在り方を考え、より強いつながりのもと、新たな形を創造していくためのロードマップをつくりあげていくためのきっかけとなる大会になれば幸いです。



■今後の展開について

兵庫会としては、様々な研修会や意見交換会などを計画し、建築技術の研鑽を深めていくとともに、より多くの青年部・女性部の対象者に参加いただき、互いの交流を深めていきたいと考えています。

引き続き、講演会を企画していくとともに、見学会や研修会の積極的な計画と会員の方に対する参加を呼び掛けたいと考えます。

また、各支部への出張委員会も計画していきたいと考えます。今年度は、手始めに明石にて一度委員会を行いました。本部に出てきにくい、「近くなれば行ける」というような方が、積極的に参加でき、気軽に横の連携を深めて行くことができ、日ごろの事務所業務にも良い影響を与えてもらうことが出来る。参加者の益であり駅(プラットフォーム)となることのできるような組織となることを目指しています。

全国的な動きとしても、視野を大きく広げて、活動の幅を広げていきたいと考えます。

全国大会や近畿ブロック協議会を活用して頂きながら、全国の設計事務所との横のつながりを形成して頂くことはもちろんのこと、醸成してきたブロック単位での活動を活発化し、例えば、近畿と九州や近畿と中四国といったブロック間の交流会のようなものを企画できればと考えます。

明石支部

支部長 後 祥和

Report 活動報告

令和6年度は、コロナも落ち着き活動が徐々に活発になり、正会員2名、賛助会員1名が仲間に加わりました。今後も会員増強に努めていきたいと思ひます。幹事・監事会WEB幹事・監事会を3回開催、メール幹事・監事会を3回開催しました。

5月には、総会を開催し議事はすべて承認され、令和6年度がスタートしました。

明石市民への支援事業として、下記活動を継続的に行っております。

- ・毎月第一火曜日の建築無料相談
- ・明石市高齢者等住宅改造費助成事業における「住まいの改良相談員」への会員登録
- ・明石市オレンジリボンキャンペーンへの参加
- ・明石市建築安全課との協議で、兵庫県建設業協会と連携し建築の一般的な相談とブロック塀の安全確認についての、相談業務を継続的に続けています。

5月10日通常総会開催本部より柏本会長をお迎えし、懇親会では、顧問の市議会議員の先生お二方、県会議員の先生にもお越し頂き総会を行いました。



10月1日には、今年も明石市六士会による法の日のキャンペーンをパビオスあかし2階のあかし市民広場において開催されました。当支部も一員として参加しました。平日の開催でしたが、建築関連の相談者は10名と多く、担当相談員が親身になり対応させて頂きました。



昨年に引き続き11月9日には、会員のための、講習会を ZOOM によるWEB形式で開催しました。

建築士会明石支部との協賛事業とし、「建築基準法の動向、改正4号確認申請の状況 WEB講習会」のテーマで株式会社兵庫確認検査機構 稲川徹様を講師としてお迎えをし、18名の参加者を集め開催いたしました。

今後も、続けていきたいと思ひます。



淡路支部

支部長 長次 昌宏

Report 活動報告

- ・総会・懇親会
日時 2024年4月25日
場所 ホテル・ザ・サンプラザ
- ・第1回 支部幹事会
日時 2024年6月19日
淡路県民局 会議室
参加者 10名
- ・賛助会支部担当者会議
日時 2024年6月21日
場所 広田地区公民館 会議室
参加者 12名
- ・住宅耐震相談
日時 2024年6月21日
参加者 2名
- ・住宅耐震相談
日時 2024年7月24日
淡路県民局 会議室
参加者 2名
- ・住宅耐震相談
日時 2024年8月1日
淡路県民局 会議室
参加者 2名
- ・第2回 支部幹事会
日時 2024年8月2日
参加者 11名
- ・講習会 納涼会
日時 2024年8月30日
場所 ホテル・ザ・サンプラザ 参加者 台風10号の為中止
- ・第3回 支部幹事会
日時 2024年9月27日 場所 広田地区公民館 会議室
参加者 13名
- ・研修旅行、見学会
金沢見学会 10月10日(木)



金沢21世紀美術館 金沢海みらい図書館

Challenge 次なる、実践

- ・本年度は、耐震改修審査と危険度判定業務を、各市より委託を受け業務を行っております。
- ・年4回の新聞広告を通じて安全な建物の啓発啓蒙活動を行っております。



大野からくり記念館 谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館

- ・福井全国大会参加10月11日(金)
フェニックスプラザ
- ・耐震相談会
日時 2024年11月10日・11日
場所 アワジガス展
参加者 8名
耐震相談ブース開設
4種類パンフ100部配布
- ・アワジズロック
日時 2024年11月17日
場所 アワジズロック参加
参加者 3名
動員数70組約200名
耐震相談ブース開設
耐震・空き家5種パンフ50部配布
- ・淡路再発見
日時 2024年11月18日
場所 ダントー・awaji
トレーニングセンター
参加者 10名
ダントー・awaji
オーダータイル見学
- ・建築関連法規講習会
日時 2024年11月29日
場所 本文化体育館会議室
参加者 4名(会員24人)
- ・第4回 支部幹事会
日時 2024年9月13日
場所 広田地区公民館 会議室
参加者 9名



競馬調教のトレーニングセンター見学



加古川支部

支部長 山本 和久

Report 活動報告

- 【4月】
 - ・4月5日(金) 第1回 幹事会
 - ・4月25日(木) 稲美町『住まいの改良相談』1件(T邸)
 - ・4月26日(金) 第2回 幹事会
- 【5月】
 - ・5月14日(火) 稲美町『住まいの改良相談』1件(F邸)
 - ・5月15日(水) 第57回 支部総会
 - ・5月29日(水) 第52回 本部総会
- 【6月】
 - ・6月3日(月) 稲美町『住まいの改良相談』1件(F邸)
 - ・6月11日(火) ブロック塀の転倒防止相談1件(O邸)
 - ・6月14日(金) 第3回 幹事会
 - ・6月25日(火) ブロック塀の転倒防止相談1件(M邸)
- 【7月】
 - ・7月20日(土) ブロック塀の転倒防止相談 1件(S邸)
 - ・7月25日(木) 第4回 幹事会
- 【8月】
 - ・8月22日(木) 第5回 幹事会
- 【9月】
 - ・9月5日(木) 第1回 法令講習会
(4号特例の見直し 等)
 - ・9月26(木) 第6回 幹事会
- 【10月】
 - ・10月2日(水) 稲美町『住まいの改良相談』
1件(F邸)
 - ・10月4日(金) 研修旅行 (パナソニックエコテクノロジーセンター他)
 - ・10月5日(土) ブロック塀の転倒防止相談 1件(T邸)
 - ・10月19日(土) 加古川 楽市 建築士会加古川支部
(青年部)イベント参加
 - ・10月20日(日) 加古川 楽市 建築士会加古川支部
(青年部) イベント参加
 - ・10月25日(土) 第7回 幹事会
 - ・10月29日(火) ブロック塀の転倒
防止相談 1件(M邸)
- 【11月】
 - ・11月21日(木) 第8回 幹事会
 - ・11月24日(日) 魚釣り大会
(播磨町本荘人工島にて)



Knowledge 共有したい知識・体験

【加古川・楽市】本年初めて兵庫県建築士会/加古川支部(青年部)さんのご協力を得まして10月19日・20日の2日間加古川市役所前広場にて開催されました“加古川・楽市”に参加させて頂きました。加古川支部青年部の皆さんの活気ある活動に触れさせて頂き我々も「まず、知っていただく」を色々な角度から取り組みたいと感じましたし他の団体や企業さんと“協働”の取り組みがもっと必要と思っています。



*「加古川楽市」は、加古川商工会議所会員事業所と、地元事業者(飲食・物販ブース出店者)、来場者にふれあいの場(企業間交流・世代間交流の場)を提供し、そこから日常の商売に繋げ、地域活性化の原動力の一助になることを目的としています。

【加古川市の“ブロック塀の転倒防止のための早期点検について”】加古川市と連携して取り組んでおります“ブロック塀の転倒防止のための早期点検について”ブロック塀の相談を受け、対処方法等のアドバイス等を行っておりますが、なかなか実際の工事までつながりにくい現状を踏まえ今期より「兵庫県建設業協会・加印支部」さんのご協力を得まして、工事の窓口となって頂いております。1件でも危険ブロック塀が無くなることを願うお互いの思いが“協働”への取り組みにつながったのだと思います。

Challenge 次なる、実践

【専門外知識の習得】法令講習会等々の建築にまつわる勉強の他に我々の専門外の方より知識や情報を得る機会を設けていきたいと思ひます。今期には、ペットを飼われている方が大変多くおられる事から我々建築士がどれ程ペットとの共生を考えて設計しているのか?と素朴な疑問から“ペットと一緒に暮らす(仮称)”講演会をペット飼や共生のプロを招き開催いたします。



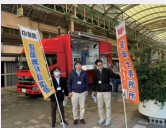
神戸支部

支部長 川崎 史

Report 活動報告

2024年

- ・1/18新年互例会
- ・2/18第39回親睦ボウリング大会
- ・3/30建築相談会、家の模型づくり
(神戸市北区八田地域福祉センター)
- ・4/16第8回賛助会技術研修会
福井コンピューター様
- ・5/16神戸支部第65回定期総会
- ・6/21明石支部との交流会
- ・7/3 第222回KJ会ゴルフコンペ
- ・7/19第9回賛助会技術研修会
SK化研様とセイキ販売様
- ・9/3退任慰労会
(柏本前会長、竹中前副会長)
- ・9/11第223回KJ会ゴルフコンペ
- ・9/20建築士事務所交流会を開催
多くの方に参加いただき、大変盛り
上がりました。参加いただきました皆
様、素敵なお縁を見つけていただけた
と思います。
- ・10/14,15一泊研修(愛媛:内子・大洲)
天気にも恵まれ、大変充実した研修
旅行となりました。
- ・10/30第10回賛助会技術研修会
カンキョーバーソーンズ様と棚田建材様
- ・10/31神戸市技術管理課と意見交換会
- ・11/9 阪神淡路大震災30年「地震に強
い安全な家に暮らそう!」を六間道
商店街にて開催。神戸支部所属の建
築士による建築相談、長田消防の
VR搭載の起震車「ゆれるん」による
地震体験、59名が震度6を体験しま
した。書家さんの色紙作り、オリジナ
ルの写真フレーム作りも。
- ・11/21日帰り研修を開催。積水ホームテクノ奈良事業所
様にて。工場見学のあとは紅葉の談山神社。
- ・12/9神戸支部セミナー 神戸市建築指導部建築安全課様
4号特例と建築基準法改正について、ルート建築防災
避難安全について
- ・12/11 第224回KJ会ゴルフコンペ
- ・12/16神戸支部相談役会開催



2025年の予定

- ・1/14新年互礼会
- ・1/31神戸支部広報誌「アプローチ54号」発刊
- ・2/4令和6年度法規講習会 建築士会神戸支部と共催
- ・2/12第40回親睦ボウリング大会
- ・3/7西神中央周辺の建築見学会
- ・3/12 第225回KJ会ゴルフコンペ
- ・3/22建築相談会、家の模型づくり
(神戸市内地域福祉センター)

Knowledge 共有したい知識・体験

神戸支部ホームページ随時更新

すまいるネット相談員、ひょうご住まいサポート

センター相談員、神戸市高齢年マンション外観調査(令和6
年度 453棟実施)、神戸市耐震診断、神戸市空き家改修(補
助金)、神戸市消防法令違反是正

11/15神戸市中央区市民文化センターで行われた近畿支部
消防法令違反是正事例発表会にて、スペースブロー級建築
士事務所の岡田俊彦様が、兵庫県、大阪府の消防職員170
名に「建築に拡がるクレパス(亀裂)」の講演をしました。

今後は、小中高生に対して、建築に関わる仕事の話しなどを
通じて、建築の魅力と楽しさを伝えて、次世代の建築を担う
人を呼び込むような活動をしていきたいと考えています。
令和6年度は神戸支部会員の2名が講演をしました。
9/11 兵庫県立三田祥雲館高等学校にて職業人講和を
開催。YURI DESIGNの前田由利様が1年生に建築家の
仕事を紹介しました。
11/5神戸市立住吉中学校にてトライアルウィーク(職業
体験)が開催されました。ティーハウス建築設計事務所の
槻橋久仁子様が2年生に建築家の仕事を紹介。
この講演をきっかけに建築に興味をもってもらえると
嬉しいです。



10/30 第10回賛助
会技術研修会後の
懇親会
11/21日帰り研修

三田支部

支部長 衣笠 安治

Report 活動報告

当支部は、兵庫県下10支部内で登録会員数最下位ではあ
りますが、三田市民を対象とした建築・住宅耐震化等の相
談、建築関連業務に携わる建築士・建築士事務所に対して、
技術講習会、建築見学会を実施すると共に、建築技術向上
及び業務の適正な運営等に関する情報を発信しております。

①建築無料相談会

■開催日時:毎週第4金曜日13時30分～17時

■開催場所:三田市役所本庁1階ロビー

■相談内容:住宅の耐震改修工事を中心とした住宅の
改修工事全般についての相談

②建築士事務所キャンペーン

■開催日時:「三田まつり」通年8月上旬

■開催場所:三田市役所会場の出店ブース

■開催内容:子ども緑日(建築無料相談等)

③支部提案事業(勉強会)

■開催回数:年度内で複数回の開催

■場所:三田まちづくり協働センター等

■内容:建築技術向上や運営等に関する情報

④支部提案事業(見学会)

■開催回数:主催・共催で複数回の開催

■開催場所:市内メインに県内建築物

■内容:新築・表彰歴建築物の見学



Knowledge 共有したい知識・体験

関西学院大学建築学部建築学科です。三田キャンパ
スで2021年より新設されており、「いま建築学が向き合
う社会問題、そして建築を学んだ先に広がる未来」の教
育プログラムの中に、共有したいナレッジが間違いなく
潜んでいると考えます。実践的な関わり方として、地域や
社会の実情にもとづき、本当に問うべき課題を見いだせる
活動に協力し、実社会においてさまざまな人と触れ合う
中で改善や解決の手法を学べる機会の提供が出来る
と考えています。



現在、三田支部で掲げている「継承と革新」が両立し
た未来志向の支部組織を目指し、会員の皆様へ情報発
信や、円滑な組織運営に努めてまいります。

【非住宅木造建築現場見学研修会を終えて/令和6年11月13日】
今回、株式会社 吉住工務店 様にお世話に成り令和5年10月20
日建設中の現場見学研修会を開催致しました。令和5年度さん
だ街並み見学研修会は、農村部の高齢化に伴い野生鳥獣被害
拡大防止のために、猟銃者の確保育成する施設 兵庫県自然鳥
獣共生課発注の県立総合射撃場管理棟(三木市吉川町福井)
の非住宅木造 建築現場見学研修会を開催。兵庫県産木材を用
いられた木造平屋建(建築面積:893.59㎡)を県が開発されたV
字形形状の高強度梁仕口「Tajima TAPOS」とスギ大径材を活用
した新技術での大規模な木造施設を設計・監理された、ワーク
&デザイン(株) 様と工事施工者:(株)吉住工務店 工事部長 吉見
敏弘 様の案内で、強度異方性を合理的に活用されたプレカット
加工仕口 並びに梁と梁の仕口の形状を工夫することで 仕口の
強度を飛躍的に高められた設計が確認する事ができ今後、私達
にとって幅広く職業倫理が求められる見学研修会で有った。



Challenge 次なる、実践

地上絵(集まる仕掛け:イベント)です。「人と自然の博
物館」研究員より協力要請のあった平板測量を使い、古
代ペルー人がナスカの地上絵を作成した原理でもある
「拡大法」を用いて製作したイベント用★の地上絵です。
年代を問わない集客:イベントの魅力のヒントを感じま
す。支部では、以前より三田まつり・桜まつりと地域イベ
ントに積極的に関わって来ました。今後、このトピックス
を活用予定です。



西はりま支部

支部長 長永 保

Report 活動報告

【たつの市住宅耐震化相談会】

たつの市住宅耐震化相談会を年間6回(6月～11月)の予定で、市役所を相談会場とし事前応募形式で実施しております。開催日程で応募が無い場合は追加で開催しております。なるべく多く相談の機会を設けることによって、住宅所有者の耐震に対する意識の高揚を図り、市内住宅の耐震化率の向上に協力出来るものと思っています。第1回相談会を6月に実施し相談件数4件、第2回相談会を7月に実施し相談件数1件となっています。令和7年1月に追加で開催予定です。



【住宅相談会】

令和6年12月1日、宍粟市山崎町「最上山もみじ祭り」で、もみじ山へ続く酒蔵通りにブースを設置し、住宅相談会を開催しました。たくさんの方にご来場いただき、住宅耐震改修省エネ改修、外壁の塗装などの相談を受けました。昨年同様、宍粟市の工務店グループ「宍粟のチカラ」の皆さんとイベントを共催しました。宍粟材を使ったマイ箸作り、角材をカットして100g±3グラムでノベルティグッズ進呈など子供から大人までたくさんの方楽しんでいただき大変賑わいました。



Challenge 次なる、実践

西はりま支部は、令和2年に赤穂支部の会員を龍野支部に迎え、西はりま支部となりました。正会員11名、賛助会員3名の活動しています。西はりま支部の活動範囲は広く、瀬戸内海から中国山地まで広がる自然豊かで歴史的にも大変魅力的な地域であります。この地域は昔から職人の多い地域でありましたが、少子高齢化の影響もあ

り、職人の高齢化担い手不足は深刻な問題となっています。イベントなどの共催を通じ工務店や職人と一緒に活動する事で、新しい情報発信や情報交換横の繋がりを大切にし、協力して地域活性化の一助となればと思っています。



今は諸事情により活動しておりませんが、平成23年から6年間にわたり兵庫県立龍野北高等学校(環境建設工学科)との交流事業がありました。内容は週1回の課題授業を受け持ち、支部会員が講師となり建築士の仕事や、実習で歴史的な建物の修繕をする中で職人から専門的な知識や技術を教える活動をしました。

参加してくれた高校生の多くが建築関係の学校や仕事に進んでおり、将来の建築の担い手育成、縦の繋がりとして大変意義のある活動だったと思います。



今後の活動として、この様な横、縦の繋がりを大切にしながらこの地域の建築に携わる人材確保、担い手の育成に協力する活動をしていければと思っています。活動を通じて地域の方々に建築士事務所を認知して頂くと共に、会員の皆様に入会してよかったと思って頂けるよう頑張っていきたいと思っています。

但馬支部

支部長 林 勤

Report 活動報告

●10月5日(土) 第1回住宅相談会
豊岡市民プラザ 市民活動室A
相談者4名

●10月7日(月) 改正建築基準法等講習会
兵庫県立但馬技術大学校 視聴覚室
参加者99名

●11月17日(日)～18日(月) 視察研修
北陸方面 ※中止

●11月28日(金) BIM勉強会
兵庫県立但馬技術大学校 視聴覚室
参加者41名

●2月1日(土) 第2回住宅相談会
豊岡市民プラザ 市民活動室A
相談者

●その他会員親睦事業
・8月9日(金) 納涼大会
・9月19日(木) ゴルフ大会
・2月7日(金) 新年会



Knowledge 共有したい知識・体験

活動エリアは県土の4分の1に及び豊かな自然環境に加え多くの文化財や歴史遺産や温泉、食べ物などの魅力的な観光資源に恵まれています。



Challenge 次なる、実践

歯止めがかからない人口減少に一矢を報いるべく、新県庁を但馬の地に建て欲しいものです。

阪神支部

支部長 工藤 晃久

Report 活動報告

2024年12月7日(土)、尼崎ベイコム陸上競技場にて開催された「AMAHAKU」に、阪神支部として体験ブース出店を行いました。

ブースでは2つの体験イベントを行いました。1つは「テンセグリティー」工作教室です。

テンセグリティーとは圧縮力と張力のバランスによって成り立つ構造体です。具体的にはストローや木の棒と輪ゴムを使って作る模型です。子供達は勿論、小さな子供達が一生懸命集中して模型を作る姿をみて、とても楽しそうにしている親御さん達が印象的でした。

そして、もう一つは「ダ・ヴィンチの橋」です。ダ・ヴィンチの橋とは金物や釘・接合材を一切使わず、重力と摩擦力によって成り立つ橋の構造です。

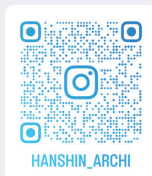
阪神支部の会員が設計を行い資材を調達し、試作会を行いました。色んな検証を行い人が渡ることが出来る橋が完成しました。

この橋を子供達や大人も渡り、不思議な構造体を体感して頂きました。

この活動を通じて、将来を担う子供達にモノづくりや建築の楽しさを伝える事が出来たと感じております。そして、参加した支部会員もとても楽しく活動が出来ました。今後は色んな場所にてこの活動を行っていきたいと考えております。

参加者：支部会員10名程度・テンセグリティー体験者40名程度 橋渡り体験者250名程度

現在、阪神支部は様々な活動を計画中です。また、今までの活動については支部の「Instagram」を初めました。是非、フォローして活動内容をご覧ください！



支部会員がサポートして渡り、事故も無く終えることが出来ました。



支部会員も参加者と共に楽しんでいました。



上手に出来ましたね！



中野国土交通大臣もダ・ビンチの橋を渡られました。

姫路支部

支部長 吉田 啓三

Report 活動報告

〈4月〉

○4月12日(金) 第1回幹事会(参加者17名)

○4月28日(日) 書写山圓教寺 古社寺見学会
(参加者10名)

〈5月〉

○5月17日(金) 姫路支部定時総会
(参加者18名、表決委任者33名、合計51名)

〈6月〉

○6月27日(木) 姫路市の街づくりについて語る会
(参加者48名：事務所協会関係者33名、姫路市役所職員14名+講師)

〈7月〉

○7月25日(木) 姫路地区建築等 行政連絡協議会
(参加者 行政・関連団体15名、会員2名)

〈8月〉

○8月8日(木) 県土木との意見交換会
(参加者 行政関連団体25名、会員1名)



Knowledge 共有したい知識・体験

「ミライ推進委員会」の発足

○主な活動目的

姫路市役所と協調して以下の活動を実施

・兵庫県事務所協会姫路支部の活動の活性化及びPR

・兵庫県事務所協会姫路支部の会員拡大につながる活動の企画実行

・支部会員を始め、建築設計及び関連業務に携わる方々の交流の促進及び技術研鑽の機会の創出。

・姫路を始めとする播磨地域の建築文化の普及促進への貢献

・当協会及び設計事務所、建築技術士の発展を見据えた活動

〈10月〉

○10月5日(土) 住宅無料相談会
(参加者 行政4名、一般19名、会員4名)

○10月22日(火) 第2回幹事会
(参加者15名)

○10月31日(木) 社会奉仕清掃活動、建設産業団体との意見交換会
(参加者 行政関連団体105名、会員2名)

〈11月〉

○11月5日(火) 姫路市との意見交換会
(参加者 行政・関連団体24名、会員2名)

〈12月〉

○12月18日(水) 第3回幹事会
(参加者15名)

〈1月〉

○1月6日(月) 姫路市新年交礼会
(参加者6名)

○1月24日(金) 姫路支部新年交礼会

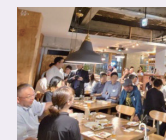


〈令和6年度主要活動〉

「姫路駅周辺の街づくりについて語る会」開催

開催日時：2024年6月27日(木)/開催場所：姫路市西二階町121 カマタニビルクラフトビール専門店 KOGANE/参加人数：47名(事務所協会会員関係者30名 賛助会員3名姫路市役所職員14名)+講師

姫路の街をもっと元気で活気ある街にすべく、姫路市大手前通り街づくり協議会の主要メンバーとして日々活動されている建築家の梶原伸介氏に、街づくり協議会での活動や、梶原様が主体的に企画実行されている姫路駅周辺での活動について、その実状や問題点、目指す未来像などについての話を伺い、参加者同士で街づくりについて協議しました。



北はりま支部

支部長 森本 恭行

Report 活動報告

□北はりま支部総会：4月

多数の参加をいただき、前年度活動内容等について報告を行いました。総会后、会食を行い会員相互の親睦を深めることができました。

□支部定例会：6月

今年度初めての通常定例会を実施し、今年度の活動を協議しました。

□支部定例会：7月

納涼定例会として、多可町にて開催し会員相互の親睦と情報交換を行いました。

□支部定例会：10月

今年度視察研修について日程、行先等について協議しました。また賛助会員との交流、情報交換を行いました。



□にしわき産業フェスタ：11月

耐震模型、耐震実験の動画を見ていただき木造住宅の「耐震性」の大切さを実感していただきました。

また、正会員の作品展示や日自連のパンフレット「建築をつくるために」を来場者に配布し、建築士事務所の「しごと」の理解を深めていただきました。

加えて今回は賛助会員の協力をいただき普段一般の方が触れることのない情報の発信をすることができました。

《随時実施》

□「建築無料相談」の実施

西脇市建築相談、三木市建築なんでも相談会

《今後の主な予定》

□支部定例会：1月

新年会をかねて通常例会を実施。

□令和6年度視察研修：3月

Knowledge 共有したい知識・体験

支部正会員には「住宅設計を主にされている方」「改修設計を主にされている方」「市街化調整区域に建つ建物を多く手掛けられている方」等それぞれ得意分野があります。

例えば近年の建築基準法、省エネ法、アスベスト関連法令等の改正については「改正があるのは承知しているが詳細な内容まではまだまだ理解が不足している」ことがあります。定例会など支部活動での交流により会員それぞれが知識(ナレッジ)を高めスキルアップできたらと考えています。

Challenge 次なる、実践

県内共通の問題となっている「空き家問題」については、県、各市町とも大きな課題として取り組まれています。

支部会員も各市町の対策協議会等に参加していますが、耐震改修、リフォーム・リノベーションを行ったうえで都市部からの移住者や事業者を受け入れる等空き家活用事業にも建築士事務所として、より積極的に参画し社会の要請に応えていけたらと考えています。

そのためにも会員相互の交流によって経験や手法等の情報交換を活発に行いたいと考えています。

趣味から見えるもの

60- アメリカ研修旅行記

68- アメリカの風景

71- マカオ訪問記(III)